



さいとう和子さんを国会へ！！



女性後援会のさいとう和子さん応援コール



6月22日公示、7月10日投開票
参議院選挙が始まります。

さいとう和子さんは、6月15日午後2時から新浦安駅前、午後4時から浦安駅前にて、「軍事対軍事ではなく平和外交を！」「国民を守るのは武器買いはではなく、社会保障と教育予算の拡充、日本の農業支援を！」と訴えま

女性後援会応援コール

女性後援会は手作りの思いの詰まったタペストリーを広げ、さいとう和子さんを国会へと応援コールを行いました。
平和への願い、女性の国会議員を増やすこと、物価高騰から国民をまもる政策、消費税5%など、暮らしに寄り添った政策を、千葉県から、さいとう和子さんに国会で要求して欲しいと託しました。
タペストリーには、「国会議員の半数を女性に」「女性の声を国会に！」「選択的夫婦別姓制度」「ジェンダー平等」「核兵器禁止条約の批准」「原発ゼロ」スローガンが縫われ、ハートのメッセージカードには「年金増やして」「学費減らして」など切実な要求が綴られています。

Q&A さいとう和子さんに何でも聞いてみよう！



6月15日は、「さいとう和子さんに何でも聞いてみよう」と道行く方に質問いただき、さいとう和子さんから答えるQ&Aが行われました。
「生活が大変なのに軍事費をあげるともつと苦しくなるのでは？」「消費税は5%にしてほしい」切実な質問に、「お金が無いからと消費税増、一方大企業に大減税、軍事費増で儲ける大企業、集め方と使い方を変えよう」



浦安駅前の非核平和都市宣言塔前にて

など、くらしまもる国民が主人公の政治への転換の必要性をさいとう和子さんは訴えました。
高校生から「どうして国会議員になろうと思ったのですか」との率直な質問に「高校の先生の時に、家庭の事情で保育士資格取得の進学を諦めざるを得ない生徒がいて、誰もが学べる環境を作るには政治を変えなくてはと強く思ったの」と答え、高校生に「学費高いよね」と訊ねると、高校生は「ホント高い！」「さいとう和子さん国会でがんばってください」と拳を振り上げての激励がありました。

大盛況だった上映会

「わが青春つきるとも
—伊藤千代子の生涯—」



桂荘三郎監督作品
原作「時代の証言者 伊藤千代子」
藤田廣登(学習の友社・刊)
主演(新人)
井上 百合子
(伊藤千代子)

5月22日(日)浦安市文化会館で開催された映画会は大盛況でした。
純情で一途な乙女が、その青春の全てを捧げ、人間の尊厳と基本的人権、社会正義の実現に向け、天皇制国家権力に立ち向かう姿、健気に、そして激しく生命を燃焼した伊藤千代子の人生は現代を生きる私達に鋭く問いかけられているように思われた。

人間の尊厳と多様性の尊重、基本的人権とジェンダー平等、格差社会と貧困問題等々。伊藤千代子は今なお、現代社会に生きる私達に鋭く問いかけていると思えました。

実行委員長の美勢市議会議員をはじめ、関係者の皆様ありがとうございました。

北部後援会副会長 田中 邦男